



小学部 お楽しみ会

今年度の小学部の「おたのしみ会」は、グループごとに行いました。グループでツリーやリースなどの飾りをつくって廊下に飾ったり、歌や楽器演奏をしたりして、クリスマスの雰囲気を楽しみました。さらに、各教室にサンタさんが登場し、プレゼントを手渡してもらい、沢山の笑顔が見られました。



中学部 らんらんチャレンジ

中学部では12月7日（月）～18日（金）にかけて毎年恒例の「らんらんチャレンジ」を実施しました。学校の周辺のコースを走る校外グループとグラウンドや教室で活動をする校内グループに分かれて、日頃の運動の成果を発揮し、たくましい心と体の成長を目指しました。通常の「朝の運動」で走る距離よりは長く、そして身体が震えるほどの寒さとも闘いながら、それぞれが、目標に向けて最後まで走りきることができました。先にゴールし終えた仲間たちが「がんばれ!」「あと少し!」「その調子!!」などと声援を送りながら仲間のもとに走りだし、ゴールまで一緒に走る姿も見られました。

「らんらんチャレンジ」を通じて学年を超えてより一層仲間との絆も深めることができました。10日間走り終えた子どもたちの表情は、キラキラ輝いていて自信に満ち溢れていました。



高等部 五町田地区「なんごとや」さんとの交流

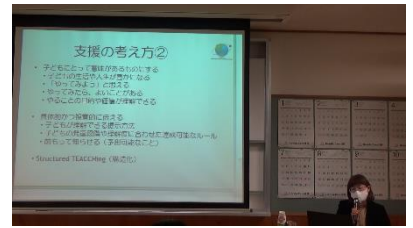
高等部の基礎技能コースでは、五町田地区コミュニティサークル「なんごとや」さんとの交流を始めて6年になります。7月の交流会はコロナ禍で残念ながら中止となりました。12月のクリスマス交流会は楠風館での開催はできませんでしたが、本校視聴覚室で合同コンサートを開くことができました。ポッチャで交流したり、音楽の時間に練習した「全力少年」の演奏やダンスを披露したりすることができました。「なんごとや」さんのハーモニカ演奏やフラダンスもとても好評でした。地域のつながりを改めて感じることができました。今後も交流会を続けていきたいと思えます。



【相談支援部】地域連携研修会を行いました。

12月25日（金）14：15から、うれしの特別支援学校職員の専門性向上及びセンター的機能推進事業令和2年度公開講座3を開催しました。

今年度は、コロナ禍ということで、校区の小学校・中学校・高等学校からは25名の先生方にご参加いただき、校内職員はリモートでの開催となりました。



今年度も「自閉スペクトラム症の子どもへの理解と支援」と題し、心と発達相談支援アナザープラネットの本村亜希子氏より、自閉スペクトラム症の特性及び具体的な支援の方法について話をいただきました。

校内職員はリモートではありましたが、本村先生のお話を聞いて、情報の整理ができたといった意見が多く、「先生の豊かな経験と子ども（大人）を思う気持ちが伝わってきて、内容がスッと頭に入りました。」と言った感想が、また、地域から参加の皆様からは、「子どもたちが本当に必要とする支援を分かりやすい支援にすることで、子どもたちから支援を求めてくるようになる。そういう支援を目指していきたいと思いました。」と言った感想が寄せられました。本村先生の力強いお話に、皆さんパワーをいただき大変有意義な研修会となりました。

進路指導部より

アビリンピック全国大会に出場しました

11月13日（金）～11月14日（土）愛知県にて第40回全国アビリンピックが開催され、佐賀県代表として高等部2年の森徳子さん（喫茶サービス部門）、本校卒業生の小村侑大さん（縫製部門）、岡大翼さん（ビルクリーニング部門）が出場しました。

夏休みや土日、放課後など時間を作って校内で練習を繰り返し、さらに卒業生に來校してもらって指導を受けながら技術を磨いて本番に臨みました。



結果は、小村さんが銅賞を獲得しました。3人とも全国の高いレベルでの競技に緊張しながらも、自分の力を精一杯発揮し、堂々と競技をすることができました。

先輩の後に続け！

先輩たちの全国での活躍を受け、後輩たちも日々技術の向上に力を尽くしています。1月23日（土）には佐賀県のアビリンピック大会が開催されました。今回も本校からビルクリーニング部門に3名、喫茶部門に3名参加しました。日頃の作業学習から熱心に練習を重ね、「ビルクリーニング部門」で高等部2年生小湊穂乃花さんが銅賞、「喫茶部門」で3年生中尾樹理さんが金賞を獲得しました。惜しくも入賞しなかった生徒も来年度に向けて意欲が高まっています。